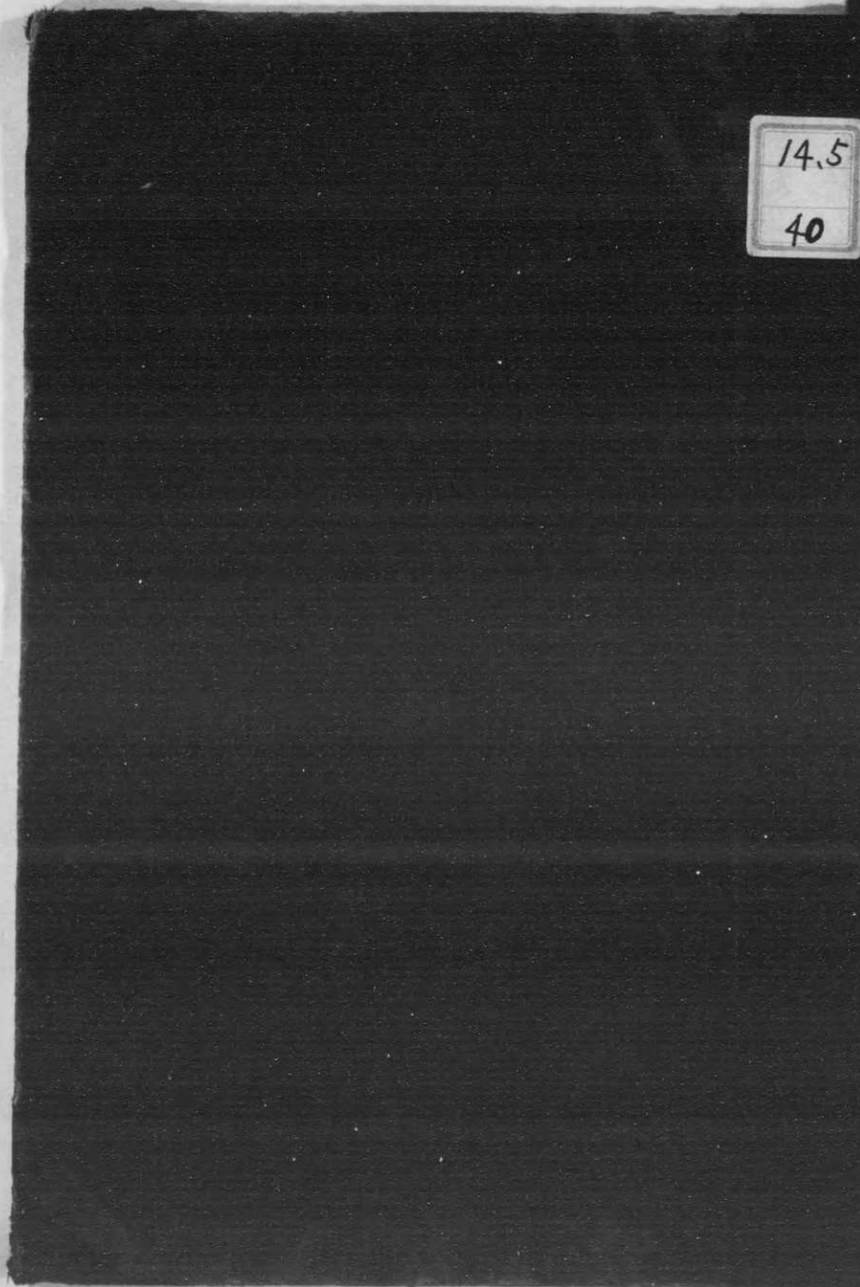




14.5
40



始



史蹟名勝天然紀念物調查報告第三十五號

天然紀念物及名勝調查報告

東京京都大阪三府及山形縣以外二十縣下ノ天然紀念物ニ關スルモノ
櫻、花菖蒲、牡丹並ニ松原ノ名勝ニ關スルモノ

大正十三年三月

史蹟名勝天然紀念物調查會委員

理學博士 三

好

學



大正十三年六月

内務省



本報告ハ大正十一年七月ヨリ十二年六月マデノ調査ニ係ルモノヲ載セ昨夏印刷ニ付シタルニ未成中大震火災ニ遭遇シ原稿全ク烏有ニ歸シタルヲ以テ今回新ニ起草シ更ニ本年三月マデノ調査ニ係ル報文ヲ加ヘタルモノナリ

つ
ク
寄贈本





第 十二 版 圖 知 足 院 奈 良 八 重 櫻 (一)



花 (二) 櫻重八良奈院足知 版圖一十二第

内外ニ過ギザレドモ幹ノ高サ百尺ニ達シ樹勢頗ル壯大ナリ此ノ如ク樟ノ大樹ノ群列ヲ爲セルモノハ稀ナルニヨリ天然紀念物トシテ指定セラレムコトヲ望ム

水前寺のり

第一產地 熊本縣飽託郡出水村大字今縣社出水神社境内

熊本市ノ東方十餘町俗ニ水前寺池ト呼ベル清澄ナル泉水ニ産シ水底ノ砂上ニ發生ス淡暗綠褐色ノ不規則ナル膜狀ヲ成シ囊狀トナラズ膜片ノ長サ約三寸幅七寸ニ達スルモ之ヨリモ小ナルモノ多シ

鏡檢スルニ此水藻ハじゆずも (*Hydrocolea*) ノ如ク念珠狀ヲ呈セズ又異形細胞ナシ其構造ハ始メテ該藻ヲ記載セル和蘭ノ植物學者スーリンガル氏 (*G. URINGAR*) ノ著『日本藻類圖解』(一八七二年)ニ示セルガ如シ當時同氏ハ該藻ニフクロデルマ・サクルム (*Phylodermum*) ノ學名ヲ命ゼルガ近世ニ至リ大野直枝氏ハ之ヲノスト・ク・フクロデルマ (*Vostror Phylodermum*) ト呼バントセリ『植物學雜誌』第一五卷第六二頁明治三十四年參照蓋シ水前寺のりノ製品淺草海苔ノ如ク漉キタルモノニハ往々じゆずもヲ混ゼルニヨリ

單ニ製品ニ就キテ檢スルトキハ兩者ヲ混同シ隨テ水前寺のりガノスト。ク屬ナルガ如ク誤認スルコトアリ大野氏ノ學名ハ或ハ斯カル原因ニヨルニ非ザルカ要スルニ水前寺のりハじゆずもトハ全ク別屬種ニシテスーリンガル氏ノ記載セル如ク珍奇ナルモノト云フベシ

水前寺のりノ發生セル泉水中ニハばいくわも多ク發生シ又ほさきのふさもせきせうも等發生ス

第二產地 熊本縣飽託郡健軍村字神水

水前寺ノ池水南方ニ流レ溜リテ江津湖トナル湖水清澄ナルコト水前寺池ニ於ケルガ如ク淺キ水中深サ約二尺ニハほさきのふさもえびもせきしやうもささもやなぎもくろもきんぎよもばいくわも等ヲ産シ水産ノ砂上ニハ水前寺のりノ發生スルモノアレドモ其最多カラズ

水前寺池ニテハ水前寺のりノ採集多キガ爲近時甚稀少トナレリ故ニ同池ニ於テ保護ヲ講ゼザレバ絶滅スルノ虞アリ

水前寺のりヲ淺草のりノ如ク製スルニハ一枚ニ付生品一升五合ヲ要スト云フ

故ニ其價頗ル貴シ

因ニ記ス福岡縣淺倉郡金川村ニモ水前寺のりノ發生セル所アリ同地ニテハ特ニ該藻ノ繁殖ヲ圖リ採集シ漉キテ淺草海苔狀トナシ又砂糖漬トナシ壽仙苔ト稱シ商品トナス

奈良縣

知足院ノ奈良八重櫻

所在 奈良市雜司町三一九番地 知足院

知足院ハ奈良市ノ東北高地ニ在リ寺ノ奥庭ノ塀上ニ奈良八重櫻ノ樹テルヲ見ル幹ノ目通周圍約二尺八寸アリ尙現在ノ株ノ一側ニ元ノ朽株ノ遺レルモノ、他側ニ幼キ幹ノ發生セルモノアリ(第二十圖版)

花第二十一圖版ハ五月上旬ニ開キ重ネ厚ク花瓣ノ數三十二達シ瓣ハ比較的狹細ナリ花徑約七分蕾ノ時ハ濃紅ナルモ開ケバ淡紅トナル雄蕊約四十雌蕊一二本、

奈良ニテハ從來此櫻ヲ單ニ八重櫻ト呼ベドモ八重櫻ハ總名ニシテ品類極メテ多キニヨリ奈良八重櫻ト呼ブラ妥當ナリトス此櫻ノ特徴ニ關シテハ三好學『日本ノ櫻ノ研究』第二『植物學雜誌』第三六卷第四二一號大正十一年ニ記載アリ

知足院ノ奈良八重櫻ハ何レノ頃ヨリ傳ハレルカ詳ナラズ同院ノ外奈良縣師範學校ノ門内及官幣大社春日神社ノ境内ニモ同様ノ櫻アレドモ何レモ小樹ナリ『大和名所圖會』(秋里離島著寛政三年)ニ春日若宮ノ神主祐茂といふ人あり八重櫻をつぎとめてをのがせさいにぞうへける年を経て色香もことに侍りけれはいとめでたき物にぞ思ひけるト記セル八重櫻ハ果シテ現時ノ奈良八重櫻ト同一種ナリシヤ分明ナラザレドモ古來春日神社及其附近ニ美麗ナル八重櫻アリテ其葉又ハ接木ニヨリテ後世ニ傳ハレルヤ疑ナシ

以上記述セル如ク奈良八重櫻ハ珍奇ナル種類ニ屬シ古來名木トシテ知ラレタルモノナレバ天然紀念物トシテ指定セラルベキモノト思考ス

因ニ記ス奈良縣師範學校内ノ奈良八重櫻ハ知足院ノ同櫻樹ノ分蘖ナリト云フ

寫眞ハ奈良縣史蹟名勝天然紀念物調査會委員岡本勇治氏ノ撮影ニヨル

岐 阜 縣

揖斐ノ二度櫻

所在 岐阜縣揖斐郡川合村南方字二度櫻一七六大藏寺所有

岐阜市ヨリ長良川ノ對岸忠節マデ電車ノ便アリソレヨリ車行約一里ニシテ二度櫻ノ所在地ニ達ス櫻ハ水田ノ間ニアル古墳ノ上ニ立チ幹ノ高サ約四間根元ヨリ二支幹ニ分カレ其一ハ地上四尺ノ高サノ周圍約四尺其他ハ半面腐朽シ他ノ半面ノミ生存ス(第二十二圖版)

此櫻ハ葉、枝、幹ノ外觀ヨリスレバ赤芽ノ山櫻ニ屬スルガ如キモ一重ノ花ノ外ニ八重ノ花及二段咲ノ花ヲ生ズルヲ特徴トス一重ノ花ハ概ネ四月十日過ニ開キ花徑約一寸二分蕾ノ時ハ淡紅ナルモ開ケバ白色トナル八重ノ花ハ稍遅レテ開クモ尙一重ノ花ト殆ド同時ニ見ルヲ得ベク花瓣ノ數ハ約四十五ニ達ス花色ハ一重ノ